

発達障害のある幼児児童生徒に対する就学前からの切れ目のない支援体制構築事業 (発達障害のある児童生徒生徒等に対するICTを活用した効果的な支援に関する実践研究)

本事業の実施体制

(1) 企画会議

- ※千代田区インクルーシブ教育推進委員会
(既存会議体)を活用
- ・本事業についての概要説明
 - ・実践校の取組に係る成果と課題の検証

(2) 研究実践における専門家の活用

- 明治学院大学 海津 亜希子 教授 に依頼
- ・年 4 回実践校 (1 校) へ派遣
 - ・1 人 1 台端末等を活用した支援に係る実践と検証に関する指導・助言

(3) 研究実践の選定 (2 校)

- ・千代田区立番町小学校
 - ・千代田区立千代田小学校
- 実践と検証を通じて、個々の障害特性に応じたきめ細やかな支援体制を構築

実践校における取組内容

(1) 1 人 1 台端末も活用した学習上の困難の早期かつ客観的把握に係る実践と検証

- ア ICTの特性・強みを生かした授業における各児童の学習状況の把握
- ・通常の学級での授業におけるめあての明確化及び振り返りの活動の充実
 - ・授業での教師による一人一人の児童の学習状況の把握

(2) 1 人 1 台端末等を積極的に活用した支援に係る実践と検証

- ア 「多層指導モデルMIM」を活用した個々の特性に応じた学習の実施
- イ 通級による指導におけるICTの特性・強みを生かした個々の特性に適した方法の実践及び検証
- ・特別支援教育専門の本区指導主事からの通級指導学級担当教員への指導
 - ・通級指導学級の研修会の実施による 1 人 1 台端末等を活用した支援に係る実践と検証

(3) 学習障害のある児童生徒等に対する 1 人 1 台端末等の活用に係る成果のまとめ

- ・(1) 及び (2) の取組の成果と課題を本区校長会において発表、全校の実践促進
- ・令和 9 年度には実践校における取組リーフレットを作成し区立学校へ配布

(4) その他

- ・学識経験者 (大学教授) を活用した校内研修の充実
- ・先進校視察による実態調査、教員の指導力向上及び校内体制の整備